

<第204号>

事務局だより

令和2年5月13日発行

現在の会員数

合計 180名

(男性 125名)

(女性 55名)

□令和2年度定時総会及び互助会定期総会のお知らせ！

令和2年度定時総会及び互助会定期総会を下記のとおり開催します。

皆さんご承知のとおり、依然として新型コロナウイルス感染が続いていることを受け、今年の定時総会は感染防止の観点から「3つの密」密集・密閉・密接を避けなければならないため、出席希望者全員を参加させることが困難な状況にあります。よって、定時総会は開催しますが開催規模等については、国や県等の状況を考慮し追って通知します。

1. 日時 6月4日(木) 午後1時から
2. 場所 グリーンパレス松安閣

互助会定期総会も感染防止の観点から(公社)黒石市シルバー人材センター定時総会終了後、直ちに開催する予定としています。

※ 例年、互助会定期総会終了後に開催していた懇親会は中止とします。

□新入会員募集中！！

会員数の拡大を図るために、今年度も会員割引制度を実施しています。

皆さんの知り合いやご近所で仕事を探している方あるいは現在何もしていない方でシルバー人材センターへ登録可能な方が居ましたらご紹介下さい。紹介した方が入会した場合、両会員に会費の割引制度が適用されます。

割引の額は、一般会員の場合、既に収めた会費から1,500円、ゴールド会員の場合1,000円をキャッシュバックします。利用制限については、1人1回までとさせていただきます。

昨年度は9名が紹介され新たに入会しました。また、昨年紹介しキャッシュバックを受けた方であっても、新たに利用できますのでご紹介お待ちしております。

□就業希望者募集！！！！

これから忙しい時期となりますが、就業会員が不足している職種があります。清掃作業、除草作業、剪定作業といった職種で就業会員が不足しています。依頼はあるものの、登録会員が少ないためお客様にお待ちいただいている状況が続いています。これを解消するため、希望職種とは違うものの、これは出来るといった職種がありましたらお知らせください。

□理事長のつぶやき「正に女は強かった」

1月に始まった新型コロナウイルスの蔓延により、世界中が騒然となったが、5月になって漸く一部の国では続々と経済活動が始まったようだ。

日本では全都道府県を対象に緊急事態が延長されたが、連続して感染がなかった県も含め安心はできないが、少しホッとしている初夏を迎えたこの頃である。

そんな中、5月10日は日頃から頑張っている母の苦労を労い、感謝を表す「母の日」があった。今回のつぶやきは、母の日に因みマザコン（母親の影響が強い？）気味の私自身の「母の日」を考えてみた。

「母の日」は、1907年（明治5年）5月12日アメリカのアンナ・ジャービスという人が行った母の追悼式で、カーネーションを捧げたことに端を発し、1914年第28代アメリカ大統領ウィルソンが祝日に制定。母が健在な人は赤、亡くなった人は白のカーネーションを胸に飾って母を称えたという。日本では大正末期に伝わったが、第二次世界大戦にアメリカに倣って5月の第2日曜日を一般化したもので、現在は大きな行事として定着した。

一方、母と相対する父の場合は、父の日常の苦労と愛情に感謝し子どもが父を慰める日として、1910年6月の第3日曜日にアメリカのJ・Bドット夫人が父の墓にバラを捧げた事に始まったと言われ、慣例行事となった。

日本では、終戦後の1950年（昭和25年）頃から始まったようだが、デパートの商戦の材料として宣伝され、次第に全国に広まったとされるが、私に言わせると母の日に比べ、父親の威厳や面影は殊の外薄くて、家庭や子どものために一生懸命頑張っているのに評価は低い、男性は女性に敵わないのかと思うと寂しい限りである。家庭内では半分以上の父が孤立の状態にある。（我が家だけかも知れないが・・・。）

話は少し変わりますが、今回の新型コロナウイルス対策で特徴的に映り感じた事があります。それはドイツをはじめニュージーランドやスウェーデン、台湾等の対策が進んでいる国がありますが、その国のリーダーが殆ど女性という事があります。何故なのか私なりに考えたことは、男性に比べると女性は“しがらみ”が少ないことと、実行する強さがあること、ただひたすらに夢や希望を追い続ける精神力のタフさがあるのではないかと思った処である。「正に女性は強かった」と思える大胆な決断があったのではと考えられる。

このことは、世界をリードしていると自認する米のT大統領、露のP大統領、仏のM大統領、英のJ首相等のリーダーの方々には、これら女性の「勇気」と「果断」を是非参考にして自国を安全へと導いてほしいものである。

最後に、今回は「母の日」に思いを馳せて投稿しましたが、現下の世界や日本の状況をみると、楽観できる処まで達していないことは周知のとおりです。どうか、大切な人や生活を守るために、自分が何をすればいいのか皆で真剣に考えて行動し、ほっこりできる日常が早く訪れるよう首を長くして待ちたいものです。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター
〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1
TEL 0172-52-5131
緊急連絡先 080-6011-5131